



ふなっこ未来大学
Funaversity

ふなっこ未来大学 (愛称 Funaversity フナバーシティ)

～未来を担う子供たちにワクワク体験を～

大学キャンパスで学ぶ

概要

小学生6年生を対象とした理科の体験講座

令和4年8月、東邦大学理学部の教員が講師となり、東邦大学の学生による企画運営委員会が「子供たちのワクワク」を念頭に内容を検討し、子供たちの伴走者となって全4回(生物・地学・化学・物理)の実験やフィールドワークを行った。近隣に理系の学部を持つ大学が複数存在する船橋市の特色を生かして、理数系分野を中心に子供たちがワクワクするような体験機会を多く提供していくことで、子供たちの自己肯定感を高めるきっかけづくりをする初年度の取組である。

ステップ1 感動ワクワク体験

ステップ2 学びに向かう力

自己肯定感

ステップ3 将来の夢

実施日・場所

令和4年8月8日(月)22日(月)25日(木)29日(月)

東邦大学習志野キャンパス内

参加者

参加者65名

(定員40名のところ申込数66名)

講座内容

「植物の形のふしぎ」講師 安立美奈子先生

キャンパス探検をしながら様々な草花を採取しスケッチしてグループで図鑑を作成。採取した草花を使ってアレンジメントした。



生物

「地面が解ける!?液状化のなぞ」講師 上原 真一先生

地震や液状化の原理についてペットボトルに地層を作って観察したり、火砕流の模型で実験したりして理解を深めた。



地学

「冷えるとどうなる?—196℃の世界」講師 酒井康弘先生

—196℃という超低温の液体窒素を使って液体窒素に入れた花を観察するなど様々な実験を行い、実際に液体窒素に触れて不思議な体験をした。



物理

「冷蔵庫の果物 長持ちさせます」講師 今野 大輝先生

食べ物を長持ちさせてムダを減らす方法を考え、そのために開発した「フレッシュキーパー」やその素材であるプラスチックやナイロン繊維をつくる合成実験をした。



化学

受講者の声…「いろいろな体験ができた。ワクワクした。」「小学校で使えない薬品を使えて楽しかった。」「中学生になっても他の内容で参加したい。」「果物の長持ちのような家事に役立つ研究をしたい。」「大学生が分かりやすく教えてくれて嬉しかった。」「大学に入ってみてどのようところが分かってよかった。」

保護者の声…「参加したことで理科に関する興味が増えたようです。」「毎回楽しそうに講座内容を話してくれた。」「大学の先生や大学生と接したことが刺激になった。」「大学のキャンパスに実際に入って小学校とはまた違う環境で知識を自然に増やせたことにとっても感謝しています。」「この講座に参加したことが近い未来にこんなふうになりたいと思うきっかけになり、目標が描けたようです。」

成果…事後のアンケートの結果、87%の受講者が「受講前と比べてもっと理科が好きになった」と回答した。

課題…今回の受講者の継続した学びと、本事業を船橋市全体の理数教育の充実につなげる必要がある